

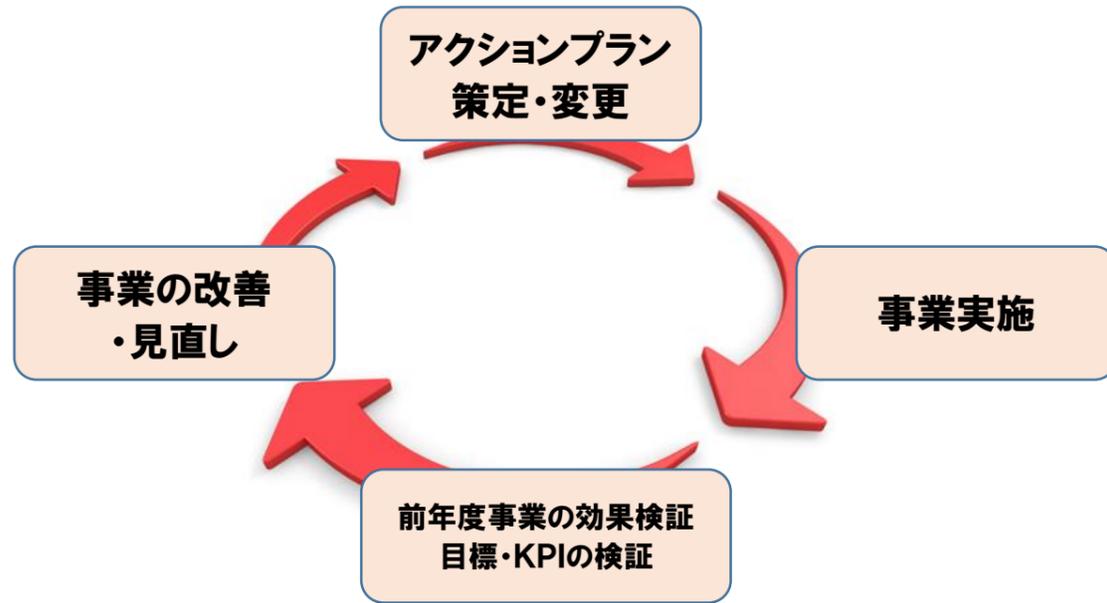
たかさご未来総合戦略

総合戦略の進め方

実効性を高めるため、具体的な事業を定めたアクションプランを策定し、毎年度見直しながら、戦略の目標を達成します。

総合戦略の進行管理については、PDC Aサイクルによって、その進捗の達成度や効果などを検証し、改善する仕組みを構築します。

この効果検証の客観性を担保するため、基本目標に数値目標、施策及びアクションプランに重要業績評価指標(KPI)を設定し、目標や施策等の効果を外部委員による検証機関である総合政策審議会(市民、団体、産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディアなどで構成)において検証します。



人口減少、少子・高齢化対策は行政だけではできません。
高砂市に関係するすべての皆様の協力と自主的な活動が必要です。

皆様とつながりながら、「夢工房たかさご 魅力ある元気なまちづくり」を進めます。

夢工房たかさごとは

市に夢と希望を興し、市民の皆様の幸福感あふれるまちを実現させていくため、未来を創る新たな課題に正面から取り組み、確実に成果を残しながら、市の未来を興し、市の発展に寄与する取組を本市に関係する皆様とつながりながら行うこと。

高砂市人口ビジョン
たかさご未来総合戦略
(要約版)

平成27年(2015年)9月
発行 兵庫県高砂市



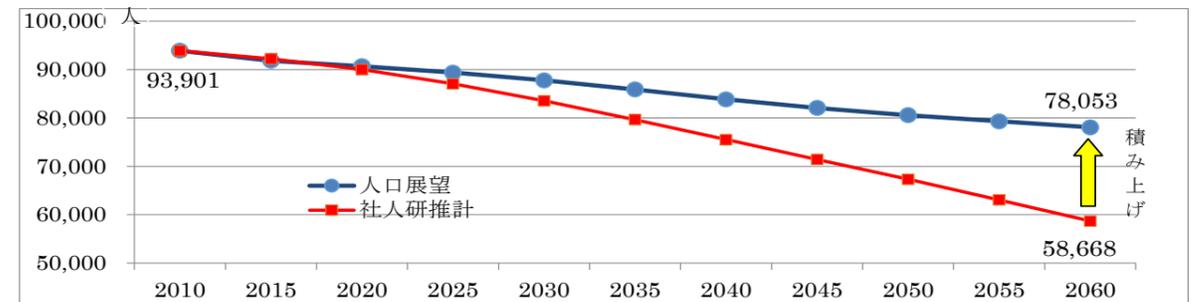
将来の人口展望

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計では、このままの状態が続けば少子・高齢化が一層進展し2060年に5万8千人になると予測され、市民生活にさまざまな影響が生じると考えられます。

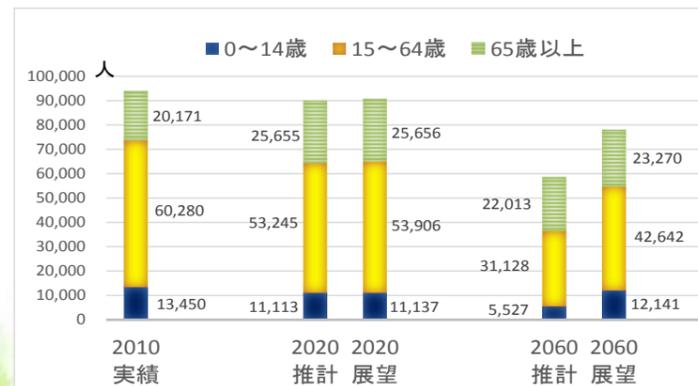
このため、持続可能な高砂市であり続けるため、将来人口の若返りを進める施策をとることで人口構造のバランス化を図り、推計より約2万人積み上げ、7万8千人を目標人口とします。

2010年(平成22年)実績 人口 **93,901人** → 2060年(平成72年)目標 人口 **78,000人**

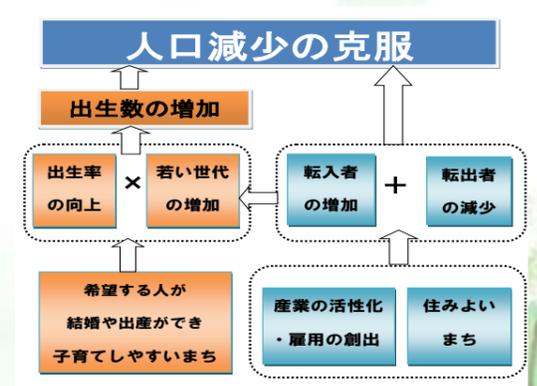
(国勢調査ベース)



【人口推計と展望人口(年齢3区分別)】



【人口減少克服のシナリオ】



将来人口の展望の考え方

- (1) 社会増減 2020年までに転出超過を0へ、以降、転入超過をめざす。
- (2) 自然増減 合計特殊出生率を国の長期ビジョンと同じ率をめざす。

この2060年に向けた人口展望の最初の5年間の取組として

たかさご未来総合戦略 を策定

たかさご未来総合戦略(2015[H27]~2019[H31])

ひと



1 「ひと」の定着・還流・移住の流れを創ります。

2019 [H31]年の目標 転出超過者数 → 0人

- 1 定住への支援 (1)若者の定住 (2)企業と連携した施策
(3)良好な住宅地 (4)空き家の利活用
- 2 移住の流れをつくる (1)希望者への情報提供 (2)市のアピール
(3)U・Iターン支援 (4)市民の雇用促進
- 3 ひと(女性)が輝く (1)多様性の尊重 (2)女性施策の充実
(3)女性の起業・就労支援 (4)男女共同参画の推進
- 4 愛着と誇り (1)市のイメージアップ (2)市政情報の発信
(3)地域づくり、人づくり
(4)生涯学習、文化芸術、スポーツ活動の振興
(5)市民活動の活性化支援

転出を抑え、転入を増やす取組

きぼう



2 結婚・出産・子育ての「きぼう」をかなえる環境を創ります。

2019 [H31]年の目標 合計特殊出生率 → 1.60

- 1 子育てしやすい環境づくり (1)ワークライフバランス促進 (2)子育て環境整備
(3)多様な保育形態の充実 (4)経済的負担の緩和
- 2 子どもへの教育の充実 (1)教育環境整備 (2)学校教育の充実
(3)家庭・地域の教育力向上 (4)子どもの読書活動推進
- 3 夢をかなえる仕組みづくり (1)若者施策の充実 (2)「結びのまち」の体系化
(3)妊娠、出産支援
- 4 子どもたちの活動の応援 (1)子育ての拠点づくり (2)地域医療の充実
(3)防犯・交通安全対策の充実

若者、子どもが暮らしやすいまちへの取組

夢工房たかさご
魅力ある元気なまちづくり

暮らしの基盤づくりと交流人口増への取組

3 産業の振興を図り、「しごと」を創ります。

2019 [H31]年の目標 市内就業者数 → 20,439人から増 製造出荷額等 → 1兆円

- 1 就労支援と産業力の強化 (1)就労相談・就労支援
(2)企業・事業所誘致、企業設備投資等への支援
(3)空き店舗活用 (4)商業活性化
- 2 新産業と地域イノベーション (1)創業(起業)支援 (2)地域イノベーション創出
(3)地域ブランド育成と情報発信 (4)地域を担う中小企業の応援
- 3 農業・水産業の活性化 (1)環境・基盤の整備 (2)担い手の育成
(3)地産地消の推進
- 4 観光力の強化 (1)地域資源の発掘と活用 (2)観光拠点整備
(3)コンベンション&ビジターズ・ビューロー設置、イベント開催
(4)広域観光推進



しごと

人口減少時代に応じた取組

4 将来にわたって元気な「まち」を創ります。

2019 [H31]年の目標 住みよい、住み続けたい人の割合 → 85%

- 1 暮らしやすいまちづくり (1)駅前再整備とコンパクトシティの検討
(2)公共交通網の拡充、都市計画道路の整備 (3)生活の質向上
- 2 健康で安心して暮らせる地域づくり (1)治水対策の充実 (2)防災対策の充実
(3)健康寿命の延伸と健康づくり (4)地域包括ケアシステムの構築・推進
- 3 行政経営の効率化と市民参画 (1)新庁舎構想の推進と行政経営の効率化
(2)参画と協働の推進
- 4 広域での取組 (1)兵庫県との連携
(2)播磨圏域連携中枢都市圏構想による連携
(3)東播臨海広域行政協議会による連携
(4)その他広域的な取組



まち